

運用報告書 (全体版)

第10期<決算日2016年8月1日>

新日鉄住金グループ株式オープン

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2006年7月31日から無期限です。
運用方針	信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	新日鐵住金株式会社（以下「新日鉄住金」といいます。）およびそのグループ会社のうち、原則として東京証券取引所第一部および第二部に上場されている株式を主要投資対象とします。
運用方法	新日鐵住金およびそのグループ会社のうち、原則として東京証券取引所第一部および第二部に上場されている株式の中から流動性を勘案した銘柄に投資し、新日鐵住金およびそのグループ会社の銘柄群全体の動きを捉えることを目標に運用を行います。 組入銘柄の投資比率の決定にあたっては、原則として組入銘柄の時価総額に応じて投資比率を決定します。ただし、分散投資および新日鐵住金を含めたグループ会社の銘柄群全体の動きを捉えるという観点から、新日鐵住金株式の時価総額が組入銘柄の時価総額合計の50%を超える場合は、新日鐵住金株式の投資比率を約50%までとし、残りの約50%をグループ会社の株式の各銘柄の時価総額に応じた比率で投資します。組入銘柄の投資比率の調整は、原則として上記で定める方針に基づいて四半期毎に行います。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。
分配方針	決算日（原則として7月31日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「新日鐵住金グループ株式オープン」は、2016年8月1日に第10期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

DIAMアセットマネジメント株式会社は、2016年10月1日にみずほ投信投資顧問株式会社、新光投信株式会社、みずほ信託銀行株式会社（資産運用部門）と統合し、商号をアセットマネジメントOne株式会社に変更する予定です（関係当局の認可等を前提とします）。

DIAMアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内3-3-1

(URL) <http://www.diam.co.jp/>

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-506-860

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		株式組入率 比	株式先物率 比	純資産額
		税分 込	み金 騰落 中率			
6期(2012年7月31日)	円 3,304	円 0	% △34.3	% 99.2	% -	百万円 2,001
7期(2013年7月31日)	4,933	0	49.3	99.6	-	2,589
8期(2014年7月31日)	5,670	0	14.9	99.4	-	2,686
9期(2015年7月31日)	5,966	0	5.2	99.5	-	2,207
10期(2016年8月1日)	4,329	0	△27.4	99.2	-	1,440

(注1) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドは、東京証券取引所第一部および第二部に上場されている株式の中から、流動性を勘案した銘柄に投資し、新日鉄住金およびそのグループ会社の銘柄群全体の動きを捉えることを目標に運用を行います。

従って、同様のコンセプトによって構成される適切な指数が存在しないため、当ファンドではベンチマークを特定しておりません。

■当期中の基準価額の推移

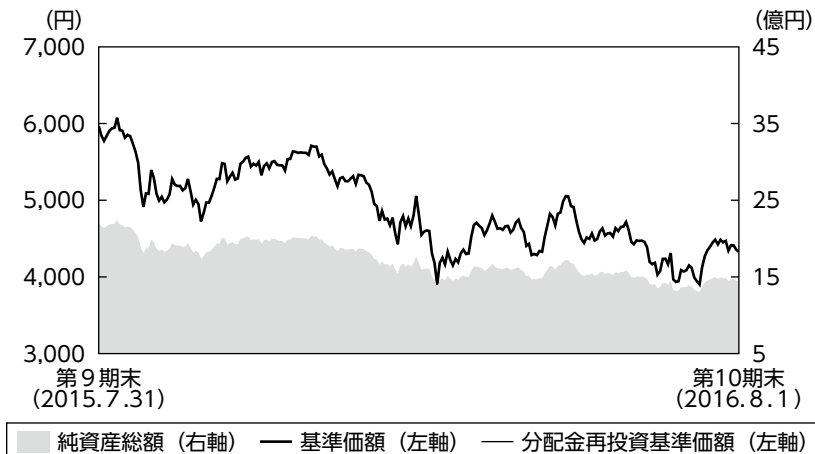
年月日	基準価額	標準価額		株式組入率 比	株式先物率 比
		騰落率	騰落率		
(期首) 2015年7月31日	円 5,966	% -	% 99.5	% -	% -
8月末	5,294	△11.3	98.9	-	-
9月末	4,837	△18.9	98.3	-	-
10月末	5,499	△7.8	98.9	-	-
11月末	5,591	△6.3	99.2	-	-
12月末	5,313	△10.9	99.4	-	-
2016年1月末	4,804	△19.5	98.9	-	-
2月末	4,298	△28.0	99.0	-	-
3月末	4,585	△23.1	98.2	-	-
4月末	4,738	△20.6	98.7	-	-
5月末	4,716	△21.0	99.0	-	-
6月末	4,071	△31.8	99.2	-	-
7月末	4,356	△27.0	99.3	-	-
(期末) 2016年8月1日	4,329	△27.4	99.2	-	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2015年8月1日から2016年8月1日まで）

基準価額等の推移



第10期首： 5,966円
第10期末： 4,329円
(既払分配金0円)
騰落率： △27.4%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

新日鉄住金株式会社は、中国の鉄鋼メーカーによる鋼材の供給過剰の構造が継続したことや、世界的に市場がリスク回避局面となり円高が進行したことなどから事業環境が悪化し、前期末比で33.8%下落しました。グループ会社の銘柄群についても、国内株式市場の下落を背景に全体としてマイナス寄与となり、基準価額は大きく下落しました。

投資環境

国内株式市場は大きく下落しました。2015年8月下旬および2016年の年初は、中国の株式市場の混乱などを背景として世界的に市場はリスク回避局面となり、株価は大幅に調整しました。2016年1月末には日銀がマイナス金利導入を決めるなど緩和的な金融政策を推進しましたが、為替や株式市場の下支え効果は限定的にとどまり、国内株式市場は期を通して大幅に下落しました。

ポートフォリオについて

新日鉄住金およびそのグループ会社の銘柄群全体の動きを捉えることを目標とし、あらかじめ定められた投資対象銘柄・投資比率に基づいて運用を行いました。新日鉄住金株式の投資比率は当期間を通じて約50%を維持し、グループ会社の各銘柄は時価総額に応じた比率で組入れ、四半期毎に投資比率の調整を行いました。また、当期間を通じて株式の組入比率は、原則として高位を維持しました。

【運用状況】 (注) 組入比率は純資産総額に対する割合です。

○組入上位10業種

期首 (前期末)

No.	業種	組入比率
1	鉄鋼	64.6%
2	金属製品	8.6%
3	化学	8.3%
4	情報・通信業	5.1%
5	卸売業	2.5%
6	非鉄金属	2.3%
7	建設業	1.8%
8	ガラス・土石製品	1.5%
9	輸送用機器	1.4%
10	海運業	1.3%



期末

No.	業種	組入比率
1	鉄鋼	64.7%
2	化学	8.9%
3	金属製品	7.4%
4	情報・通信業	5.2%
5	輸送用機器	4.5%
6	卸売業	2.7%
7	ガラス・土石製品	1.8%
8	非鉄金属	1.2%
9	海運業	0.8%
10	鉱業	0.8%

○組入上位10銘柄

期首 (前期末)

No.	銘柄名	通貨	比率
1	新日鐵住金	日本・円	48.8%
2	エア・ウォーター	日本・円	8.3
3	SUMCO	日本・円	7.1
4	新日鐵住金ソリューションズ	日本・円	5.1
5	大同特殊鋼	日本・円	4.0
6	日新製鋼	日本・円	3.1
7	日鉄住金物産	日本・円	2.5
8	大阪チタニウムテクノロジーズ	日本・円	2.3
9	共英製鋼	日本・円	1.9
10	山陽特殊製鋼	日本・円	1.8
組入銘柄数		28銘柄	



期末

No.	銘柄名	通貨	比率
1	新日鐵住金	日本・円	47.1%
2	エア・ウォーター	日本・円	8.9
3	SUMCO	日本・円	5.8
4	新日鐵住金ソリューションズ	日本・円	5.2
5	大同特殊鋼	日本・円	5.0
6	日新製鋼	日本・円	3.5
7	日鉄住金物産	日本・円	2.7
8	山陽特殊製鋼	日本・円	2.3
9	共英製鋼	日本・円	2.3
10	ユニプレス	日本・円	2.1
組入銘柄数		28銘柄	

分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2015年8月1日 ～2016年8月1日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	1,869

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

今後の運用方針

引き続き、新日鉄住金およびそのグループ会社の銘柄群全体の動きを捉えることを目標とし、あらかじめ定められた投資対象銘柄・投資比率に基づいて運用を行います。組入銘柄の投資比率の決定にあたっては、原則として組入銘柄の時価総額に応じて投資比率を決定し、四半期毎に投資比率の調整を行います。また、株式の組入比率は、原則として高位を保つことを基本とします。

■1万口当たりの費用明細

項目	第10期		項目の概要
	(2015年8月1日 ～2016年8月1日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	44円	0.909%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4,871円です。
(投信会社)	(18)	(0.379)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(24)	(0.487)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託銀行)	(2)	(0.043)	受託銀行分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.033	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(2)	(0.033)	
(c) その他費用	0	0.004	(c) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の諸費用等（余資運用に対してかかる費用を含む）
合計	46	0.946	

（注1）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注2）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注3）比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況（2015年8月1日から2016年8月1日まで）

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内 上 場		千株	千円	千株	千円
		185.6 (△3,278.4)	175,246 (-)	509.5	341,159

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) ()内は、株式分割、増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	516,405千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,676,615千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	0.30

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■主要な売買銘柄（2015年8月1日から2016年8月1日まで）

株 式

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
ユニプレス	21.4	51,663	2,414	新日鐵住金	135.2	133,712	988
新日鐵住金	22.7	44,733	1,970	エア・ウォーター	16	29,750	1,859
名村造船所	29.1	28,707	986	SUMCO	27.2	27,027	993
エア・ウォーター	4	6,510	1,627	新日鐵住金ソリューションズ	7	22,853	3,264
新日鐵住金ソリューションズ	2.9	6,072	2,093	大同特殊鋼	40	18,104	452
SUMCO	8	5,647	705	日新製鋼	10.3	13,146	1,276
大同特殊鋼	11	4,295	390	日鐵住金物産	31	12,104	390
日新製鋼	3.1	4,214	1,359	ユニプレス	3.8	8,803	2,316
日鐵住金物産	11	4,155	377	大阪チタニウムテクノロジーズ	3.5	8,384	2,395
山陽特殊製鋼	5	2,557	511	大阪製鐵	4	7,897	1,974

(注) 金額は受渡代金です。

■利害関係人との取引状況等（2015年8月1日から2016年8月1日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

国内株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
鉱業 (0.8%)			
日鉄鉱業	37	31	10,819
建設業 (0.3%)			
日鉄住金テックスエンジ	60	—	—
三晃金属工業	17	15	4,410
化学 (9.0%)			
エア・ウォーター	85	73	128,042
石油・石炭製品 (0.5%)			
日本コークス工業	130.8	111.3	7,345
ガラス・土石製品 (1.8%)			
日本コンクリート工業	24.9	21.3	7,944
ジオスター	14	11.6	9,535
黒崎播磨	40	34	8,568
鉄鋼 (65.2%)			
新日鐵住金	3,678	349.9	678,456
中山製鋼所	273	232	12,296
合同製鐵	73	63	10,710
日新製鋼	47.6	40.4	50,782
共英製鋼	19.2	16.5	33,198
大阪製鐵	18.5	15.6	27,300
大同特殊鋼	189	160	72,000
山陽特殊製鋼	71	62	33,852
新日本電工	63.5	54	9,018
鈴木金属工業	24	—	—
日垂鋼業	22.3	19.1	4,450
非鉄金属 (1.2%)			
大阪チタニウムテクノロジーズ	16	13.6	17,217

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
金属製品 (7.5%)			
SUMCO	127.2	108	83,700
高周波熱錬	19.2	16.5	12,853
東京製鋼	70	60	10,140
機械 (0.5%)			
住友精密工業	23	20	6,580
輸送用機器 (4.5%)			
ユニプレス	—	17.6	30,430
名村造船所	—	25.4	14,503
トピー工業	104	89	20,025
海運業 (0.8%)			
NSユニテッド海運	99	88	11,616
情報・通信業 (5.3%)			
新日鉄住金ソリューションズ	22.9	39	75,153
卸売業 (2.7%)			
日鉄住金物産	134	114	38,646
	千株	千株	千円
合 計	株 数・金 額	株 数	評 価 額
	5,503.1	1,900.8	1,429,593
	銘柄数<比率>	28銘柄	28銘柄 <99.2%>

(注1) 銘柄欄の()内は、期末の国内株式評価総額に対する各業種の比率です。

(注2) 合計欄の< >内は、期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨ててあります。

■投資信託財産の構成

2016年8月1日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 1,429,593	% 96.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	58,637	3.9
投 資 信 託 財 産 総 額	1,488,230	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年8月1日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,488,230,332円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	16,690,959
株 式(評価額)	1,429,593,000
未 収 入 金	40,790,373
未 収 配 当 金	1,156,000
(B) 負 債	47,666,216
未 払 金	40,755,940
未 払 解 約 金	37,540
未 払 信 託 報 酬	6,849,042
そ の 他 未 払 費 用	23,694
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,440,564,116
元 本	3,327,773,314
次 期 繰 越 損 益 金	△1,887,209,198
(D) 受 益 権 総 口 数	3,327,773,314口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C/D)	4,329円

(注) 期首における元本額は3,700,179,318円、当期中における追加設定元本額は46,406,140円、同解約元本額は418,812,144円です。

■損益の状況

当期 自2015年8月1日 至2016年8月1日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	34,557,003円
受 取 配 当 金	34,554,954
受 取 利 息	4,803
支 払 利 息	△2,754
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△558,932,244
売 買 益	45,815,162
売 買 損	△604,747,406
(C) 信 託 報 酬 等	△15,715,915
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△540,091,156
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△802,618,738
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△544,499,304
(配 当 等 相 当 額)	(353,665,570)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△898,164,874)
(G) 合 計(D+E+F)	△1,887,209,198
次 期 繰 越 損 益 金(G)	△1,887,209,198
追 加 信 託 差 損 益 金	△544,499,304
(配 当 等 相 当 額)	(353,665,570)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△898,164,874)
分 配 準 備 積 立 金	268,372,445
繰 越 損 益 金	△1,611,082,339

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	18,841,088円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	353,665,570
(d) 分配準備積立金	249,531,357
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	622,038,015
(f) 1万口当たり当期分配対象額	1,869.23
(g) 分配金	0
(h) 1万口当たり分配金	0

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。